

石巻市立湊第二小学校

2014年 12月 15日

大西 歩実(香川大学大学院教育学研究科)
北林 雅洋(香川大学教育学部)

【文献】

(1) 『東日本大震災の記録 湊第二小学校の様子』湊第二小学校公式HP <http://www.mediaship.ne.jp/~telsmins/shinsai/shinsai.html>

【場所】

海岸から約700m、旧北上川から600mの位置にある。

住所:宮城県石巻市大門町2丁目2-1

※現在は閉校し、湊小学校と統合して再開した。



【東日本大震災による被害】

津波により校舎1階が浸水。

【震災当日の様子】

地震が起こった時、3年生以上は6校時の授業中、1・2年生は下校して15分ほど経っていた頃であった。学校にいた児童は校庭に避難したが、地域住民から大津波警報が出ていることを聞き、校舎3階へ避難した。1・2年の担任は地震後すぐに学区の巡視に行き、児童の安全を確認した。しかし、異常なまでの渋滞で車を乗り捨てて帰校した。その後、地域住民が続々と避難してきた。その直後、津波が襲来し校舎2階下まで一気に浸水した。水は2日間引かず、3日目ようやく外に出ることができた。(1)

【調査して言えること】

学校の標高は約0.8mで、海から約700m、一級河川である旧北上川から約600mという位置にあり、地震の際に津波を警戒した避難の必要な学校である。学校の北東に大門崎山という山があり、400mほどの道のりで標高20m以上の場所へ上がることができる。学校外への避難も検討できる学校であると考えられる。



南から見た学校(2014/11/2撮影)



学校と山(2014/11/1撮影)

※天気が悪かったため見えにくいが湊中学校の校舎越しに大門崎山が見える。